

ベトナムの通商改革 | 関税緩和と技術導入で進む

2025年4月16日 作成

カテゴリー ベトナム経済 貿易・輸出入

ベトナムの通商改革 | 関税緩和と技術導入で進む

ベトナム政府は2025年初頭より、自動車、農産物、エネルギー関連など多数の輸入品目に対する関税を大幅に引き下げた。この措置は、サプライチェーンの多様化、企業支援、そして貿易収支の均衡を図る戦略的な一手である。具体的には、自動車の関税が最大14%、農産物では5~10%の引き下げが適用され、一部の原料には関税ゼロが導入された。エネルギー分野ではエタノールやLNG、ethaneの税率も引き下げまたは撤廃された。

木材製品についても、米国との協議を経て関税ゼロが実現され、双方向の貿易を円滑にする効果が期待されている。経済専門家の意見によれば、こうした減税策により、原材料コストが低下し、ベトナム企業の価格競争力が高まり、ベトナム国内消費の活性化に寄与する見込みである。

また、技術移転促進のため、米国など先進国からの高度技術の輸入強化にも力を入れており、知的財産制度の整備や企業支援策も並行して進行中である。このような包括的な政策により、ベトナムは国際市場での競争力を高め、経済の持続的発展と国際的信頼の確保を目指している。

以上